

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月17日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL https://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 2020年7月28日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年3月21日～2020年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,085	8.6	△7	—	△6	—	△5	—
2020年3月期第1四半期	999	△22.4	△170	—	△164	—	△140	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △4百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △141百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△0.66	—
2020年3月期第1四半期	△17.65	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	5,145	3,939	76.6	493.11
2020年3月期	5,250	4,123	78.5	517.83

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,939百万円 2020年3月期 4,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年3月21日～2021年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,535	15.0	△253	—	△247	—	△182	—	△22.88
通期	6,245	33.6	357	—	367	—	231	—	29.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
除外 1社 （社名）株式会社アジュバンコスメティック
（注）詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,996,200株	2020年3月期	7,970,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	6,403株	2020年3月期	6,403株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,978,580株	2020年3月期1Q	7,955,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会経済活動の自粛により消費が大幅に縮小しており、極めて厳しい状況にありました。緊急事態宣言の解除と政府の政策により、消費活動に持ち直しの動きがみられますが今後の国内外の感染の動向による影響に留意が必要な状況となっております。

美容業界におきましても、サロン※注1の時短営業及び臨時休業並びに外出自粛による客数の減少等の影響があり、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、2021年3月期の営業テーマを「顧客の創造・関係性の強化」とし、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しております。新型コロナウイルスの感染予防及び感染拡大防止に関しては、「新型コロナウイルスに関する指針」を新たに定め、テレワークの導入や対人接触を伴う営業活動を自粛し安全対策を実施しております。

また、当第1四半期連結累計期間より意思決定の迅速化と組織運営の効率化を目的として、連結子会社であった株式会社アジュバンコスメティックを吸収合併いたしました。

加えて、収益を生む体制の再構築を目指すため、重点エリアへの営業人員の再配置等による営業の効率化に取り組んでおります。

売上高につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,085百万円(前年同期比8.6%増)となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第1四半期連結累計期間末で7,887軒(前期末比92軒増)となりました。

売上高の増加及び販売費や旅費交通費等の減少により利益面では、営業損失7百万円(前年同期は営業損失170百万円)、経常損失6百万円(前年同期は経常損失164百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失5百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失140百万円)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
スキンケア	367	36.7	386	35.6	19	5.4
ヘアケア	535	53.5	586	54.0	51	9.7
その他	168	16.9	188	17.4	19	11.6
売上割戻金	△71	△7.1	△75	△7.0	△4	—
合計	999	100.0	1,085	100.0	86	8.6

(注) 1. エクシードシステム株式会社(連結子会社)、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、「その他」に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	(%)
国内売上高	921	92.2	1,043	96.1	122	13.3
海外売上高	78	7.8	42	3.9	△36	△46.0
合計	999	100.0	1,085	100.0	86	8.6

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、ミドルブランドである「A E R i c h」は前期と比べて苦戦しておりますが、昨年リニューアルした「A L L E n r i c h」が堅調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は386百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、「Re:>>>」のうち、「クラスSライン」が前期と比べて苦戦しておりますが、「ベーシックライン」は順調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は586百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

(その他)

エクシードシステム株式会社(連結子会社)の売上高は、国内のサロンアンサーシステム^{※注3}の導入件数が、当第1四半期連結会計期間末において1,030件と順調に推移した結果、増加いたしました。

一方、香港の条例改正案に対する抗議活動と新型コロナウイルス感染症の影響のため、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の海外売上高は、減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は188百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「サロンアンサーシステム」

エクシードシステム株式会社(子会社)が販売する、クラウド型経営サポート(サロンの顧客管理、経営分析)システムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して105百万円減少し、5,145百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して102百万円減少の2,645百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少243百万円、売掛金の増加100百万円、商品及び製品の増加18百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して3百万円減少の2,499百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産の償却等による減少16百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して77百万円増加の737百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加27百万円、賞与引当金の増加65百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して0百万円増加の468百万円となりました。主な変動要因は、退職給付に係る負債の増加1百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して184百万円減少の3,939百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による減少5百万円、配当金の支払による減少191百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期及び通期の業績予想につきましては、前回発表(2020年4月17日)の連結業績予想からの変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化、深刻化した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。現時点で今後の動向を見通すことは困難であるため、業績予想においてはこれによる影響を見込んでおりません。今後の業績推移等によって第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,313	1,234,786
売掛金	454,938	555,623
商品及び製品	638,440	656,949
仕掛品	21,532	20,578
原材料及び貯蔵品	76,851	88,157
その他	82,337	98,705
貸倒引当金	△4,606	△9,140
流動資産合計	2,747,807	2,645,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,137,993	1,137,988
土地	720,678	720,678
その他	456,489	462,316
減価償却累計額	△651,458	△674,047
有形固定資産合計	1,663,703	1,646,935
無形固定資産	46,185	49,439
投資その他の資産		
投資有価証券	526,869	528,000
その他	282,184	292,924
貸倒引当金	△15,962	△17,475
投資その他の資産合計	793,091	803,449
固定資産合計	2,502,980	2,499,824
資産合計	5,250,788	5,145,485
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,297	159,645
1年内返済予定の長期借入金	17,755	12,730
未払法人税等	9,254	120
賞与引当金	104,873	170,747
その他	395,244	394,001
流動負債合計	659,425	737,245
固定負債		
退職給付に係る負債	43,421	45,159
資産除去債務	15,342	15,339
長期未払金	384,470	384,470
その他	24,148	23,409
固定負債合計	467,382	468,378
負債合計	1,126,808	1,205,623

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,671	765,630
資本剰余金	731,374	737,334
利益剰余金	2,648,728	2,452,294
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	4,133,941	3,949,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,388	△10,907
為替換算調整勘定	1,427	1,342
その他の包括利益累計額合計	△9,960	△9,564
純資産合計	4,123,980	3,939,861
負債純資産合計	5,250,788	5,145,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
売上高	999,648	1,085,870
売上原価	415,080	438,524
売上総利益	584,568	647,345
販売費及び一般管理費	755,458	654,418
営業損失(△)	△170,890	△7,072
営業外収益		
受取利息	11	67
受取配当金	7,131	140
受取家賃	450	450
貸倒引当金戻入額	—	271
雑収入	723	1,202
営業外収益合計	8,316	2,131
営業外費用		
支払利息	32	13
為替差損	2,351	1,664
営業外費用合計	2,384	1,678
経常損失(△)	△164,957	△6,619
特別損失		
固定資産除却損	2,811	—
特別損失合計	2,811	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△167,769	△6,619
法人税、住民税及び事業税	11,781	4,844
法人税等調整額	△39,114	△6,165
法人税等合計	△27,332	△1,321
四半期純損失(△)	△140,437	△5,298
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140,437	△5,298

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年6月20日)
四半期純損失(△)	△140,437	△5,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△538	481
為替換算調整勘定	△174	△85
その他の包括利益合計	△713	396
四半期包括利益	△141,150	△4,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141,150	△4,902
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、当社を吸収合併存続会社とし、当社の特定子会社かつ完全子会社である株式会社アジュバンコスメティックを吸収合併しましたので、同社を連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。